

孝安天皇、

孝昭帝の第二子なり。

母は世襲足媛皇后にして、

孝昭帝の六十八年、

立ちて皇太子となる。

八十三年八月、

孝昭帝崩ず。

元年己丑、

春正月七日辛卯、

天皇、位に即く。

時に年三十六。

是を日本足彦國押人天皇となす。

秋八月辛巳の朔、

皇后を尊びて皇太后と曰ふ。

二年庚寅、冬十月、

都を室に遷し、

是を秋津島宮と謂ふ。

二十六年甲寅、
きのえとら

春二月十四日壬寅、
はる みづのえとら

押媛を立て、皇后となす。
おしひめ た くわひら

三十八年丙寅、
ひのえとら

秋八月十四日己丑、
あき つきはつし

孝昭天皇を葬る。
かうせうてんわう はつむ

七十六年甲辰、
きのえたつ

春正月五日癸酉、
はるじやうがつ みづのとら

大日本根子彦太瓊尊
おほやまとねこひこぶとにのみこと

を立て、皇太子となす。
た くわうたいし

一百二年庚午、
かのえつま

春正月九日丙午、
はるじやうがつ ひのえつま

天皇崩ず。
てんわうほう

年一百三十七。
とし

玉手丘上陵に葬る。
たまてのをかのへのみさぎ ほう

追諡して
つゐし

孝安天皇と曰ふ。
かうあんてんわう い